

日付	学科	学年	番号	名前
/				

第4章 5 「定数係数非斉次線形微分方程式」 第1回

例題 次の微分方程式の一般解を求めよ.

$$(1) \frac{d^2x}{dt^2} - \frac{dx}{dt} - 6x = 12t + 2 \quad (2) \frac{d^2x}{dt^2} - \frac{dx}{dt} - 6x = 2e^{2t} \quad (3) \frac{d^2x}{dt^2} - \frac{dx}{dt} - 6x = 50 \sin t$$

解 (1) まず, 斉次微分方程式 $\frac{d^2x}{dt^2} - \frac{dx}{dt} - 6x = 0$ の一般解を求める.

特性方程式 $\lambda^2 - \lambda - 6 = 0$ の解は $\lambda = -2, 3$ より $x = C_1e^{-2t} + C_2e^{3t}$ (C_1, C_2 は任意定数)

次に, 微分方程式の右辺は 1 次式だから, 1 つの解を $x = At + B$ (A, B は定数) と予想して代入すると $(At + B)'' - (At + B)' - 6(At + B) = 12t + 2$ より $-A - 6At - 6B = 12t + 2$

係数を比較して $-6A = 12, -A - 6B = 2$ より $A = -2, B = 0$ となり, 1 つの解は $x = -2t$

よって, 求める一般解は $x = -2t + C_1e^{-2t} + C_2e^{3t}$ (C_1, C_2 は任意定数)

(2) (1) と同様にして, 斉次微分方程式を解くと, 一般解は $x = C_1e^{-2t} + C_2e^{3t}$ (C_1, C_2 は任意定数)

次に, 微分方程式の右辺は $2e^{2t}$ だから, 教科書 p.123 を参考にして 1 つの解を $x = Ae^{2t}$ (A は定数) と予想して代入すると, $(Ae^{2t})'' - (Ae^{2t})' - 6Ae^{2t} = 2e^{2t}$ より $-4Ae^{2t} = 2e^{2t}$

係数を比較して $-4A = 2, A = -\frac{1}{2}$ となり, 1 つの解は $x = -\frac{1}{2}e^{2t}$

よって, 求める一般解は $x = -\frac{1}{2}e^{2t} + C_1e^{-2t} + C_2e^{3t}$ (C_1, C_2 は任意定数)

(3) (1) と同様にして, 斉次微分方程式を解くと, 一般解は $x = C_1e^{-2t} + C_2e^{3t}$ (C_1, C_2 は任意定数)

次に, 微分方程式の右辺は $50 \sin t$ だから, 教科書 p.124 を参考にして 1 つの解を $x = A \cos t + B \sin t$ (A, B は定数) と予想して代入すると $(A \cos t + B \sin t)'' - (A \cos t + B \sin t)' - 6(A \cos t + B \sin t) = 50 \sin t$ より $(-7B + A) \sin t + (-7A - B) \cos t = 50 \sin t$

係数を比較して, $(-7A - B) = 0, A - 7B = 50$ より $A = 1, B = -7$ となり, 1 つの解は $x = \cos t - 7 \sin t$ よって, 求める一般解は $x = \cos t - 7 \sin t + C_1e^{-2t} + C_2e^{3t}$ (C_1, C_2 は任意定数)

1. 次の微分方程式の一般解を求めよ.

$$(1) \frac{d^2x}{dt^2} - \frac{dx}{dt} - 6x = 6t - 5 \quad (2) \frac{d^2x}{dt^2} + \frac{dx}{dt} - 6x = 4e^{-2t}$$